

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 8 年 6 月 2 日



## 豊中ロータリークラブ

第 3077 例会

第 2671 号

よいことのために  
手を取り合おう

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2025～26 年度

国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツォ  
(イタリア、ラゲーザ RC)

Rotary



Toyonaka

2025.7～2026.6

会 長 松本 悟  
副 会 長 矢口正登  
幹 事 藤田充男  
雑誌・広報・会報委員長  
都井正剛

本日 (6 月 2 日) のプログラム

「日本の風景」

豊中 RC 会長：松本 悟



次回 (6 月 9 日) のプログラム

「一年を振り返って」

職業奉仕委員長：松山辰男  
社会奉仕委員長：矢野 昭  
国際奉仕委員長：武枝敏之  
青少年奉仕委員長：岩本洋子

### 会長の時間

「AI (Artificial Intelligence)」

2025-26 年度 会長 松本 悟

先日、読売ジャイアンツ、阿部監督の問題の際に、長女さんが AI チャットの一つ ChatGPT に相談して、児童相談所に連絡をした、という報道がありました。

最近の若者は AI チャットに相談することが生活の一部で、悩み事や恋愛、そして将来のこと等も相談するようです。その中で応答するうちに恋心を抱く方が 1～2 割いると新聞報道にもありました。

ちなみに、「6 月初旬 10～20 名程度の前で 600 字程度で 時事的あるいは季節的な話を」と問いかけると・・・

皆さま、こんにちは。

早いもので、もう 6 月を迎えました。ついこの前まで桜の話題をしていたように思いますが、季節の移ろいは本当に早いものです。6 月といえば、梅雨入りの時期でもあります。晴れの日が少なくなり、湿気も増え、何となく気持ちまで重く感じることもあります。しかし一方で、この季節ならではの風景もあります。例えば、雨に濡れた紫陽花です。・・・(中略)

梅雨空の続く季節ではありますが、雨の日ならではの景色を楽しみながら、体調にも十分気を付けて、この時期を元気に過ごしてまいりたいと思います。

といった内容の格調高い文章をあっという間に作成してくれます。

こうなると、学生の作文、読書感想文などの宿題は、造作なく仕上げてくれるので、きっと既に利用されているはずですし、それを採点する先生も、生徒が提出した作文をすべて AI に読ませて、採点しているようになるでしょう。これからの学校では、いったい何を教えてゆくことになるのでしょうか。

医療の世界でも今後、カルテの内容をすべて入力することができれば、おそらく治療方針はすぐに得られると思うので、医師の仕事はなくなってゆくのではないかと感じてしまいます。

この AI 技術は、数年前には合格しなかった東大理Ⅲの入試に、今年は首席で合格したと報道されているように、一気に機能アップしてきているようです。近い将来、世の中がどのように変化してゆくのか、とても心配でもあり、楽しみでもあります。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイポリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：9 時～15 時(土日祝を除く)

H P アドレス：<https://toyonaka-rc.jp>

メールアドレス：[jtrc2660@sun-inet.or.jp](mailto:jtrc2660@sun-inet.or.jp)

☆出席報告☆

	第3076回	第3073回
例会日	5月26日	4月28日
① 会員数 A	27	27
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	21	21
③ 出席義務者出席数	11	11
④ 出席免除者出席数	1	2
⑤ メイクアップ数		4
⑥ 出席義務者欠席数	10	10
出席率 %	54.55%	73.91%

出席率(3076回) ③+④/②+④ 出席率(3073回) ③+④+⑤/②+④

☞幹事報告☞

- ・国際ロータリー第2660地区より  
「ガバナー月信 配信先メールアドレス入力のお願ひ」が届きました。  
「アンケートのお願い(地区職業奉仕委員会)」が届きました。  
「2026-27年度クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会」が届きました。
- ・豊中・サンマテオ姉妹都市協会より  
「姉妹都市協会自主事業に関するミーティングの日程調整について」が届きました。

☞掲示板☞

- ・第12回定例理事会・第7回被選理事会開催  
日時：2026年6月2日(火) 本日例会終了後  
場所：ホテルアイボリー1F かやの間
- ・卓話“一年を振り返って”  
職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕各委員長  
日時：2026年6月9日(火) 例会時  
場所：ホテルアイボリー1F かやの間  
※新旧クラブ協議会があります
- ・創立記念日例会  
日時：2026年6月20日(土) 18:00~  
場所：豊中商工会議所 大会議室
- ・卓話“一年を振り返って”  
会長・副会長・幹事  
日時：2026年6月9日(火) 例会時  
場所：ホテルアイボリー1F かやの間  
※ニコニコクイズがあります

🌸6月のお祝い🌸



- ・入会記念日  
矢口 正登 会員 H.9.6.24  
今川 英紀 会員 H.20.6.3
- ・会員誕生日  
横田 広司 会員 S.33.6.29  
松尾 宗好 会員 S.18.6.10
- ・結婚記念日  
横田 広司 会員 S.55.6.22  
松本 悟 会員 H.2.6.3  
藤田 充男 会員 H.1.6.11
- ・ご夫人誕生日  
松山会員 直美夫人 6月16日  
佐川会員 優子夫人 6月22日

😊5月26日のニコニコ😊

- ・加藤様卓話にお越しいただき有難うございました。 岩本会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 澤木会員
- ・合同例会欠席のお詫び 松山会員
- ・欠席のお詫び 田畑・矢吹各会員
- ・写真を頂いて 武枝会員

🌸創立記念日例会🌸

2026年6月20日(土)は、豊中RC67周年創立記念日例会を開催いたします。(詳細は掲示板をご覧ください)  
ご出欠の報告のまだな会員様は6月9日までに事務局にお知らせいただきますようお願い致します。

幹事 藤田充男

○お知らせ○

- ・次回の例会は、6月9日(火)です。  
皆様のご出席、宜しくお願い致します。  
当日は四大奉仕委員長様の卓話がございます。ご準備のほど宜しくお願い致します。

加藤 夏海 様 (子ども支援団体 Quest 代表)

豊中 RC 青少年奉仕委員長 岩本 洋子



岩本洋子会員 加藤様

社会の中に確かに存在しているのに、ほとんど見えない子どもたち  
——ネグレクトを受けている子どもの実態と、私たち大人にできること——

「殴る・蹴る」ではなく「与えない・応えない」ことで子どもを傷つける虐待。  
食事を与えない／病院に連れて行かない／放置／声をかけない（愛情遮断）。  
児童相談所の虐待相談は令和5年度 22.5万件で過去最多、うちネグレクトは約3.6万件。  
これは把握できた件数のみで「氷山の一角」。

- ・ネグレクトを受けた子どもは脳の形が物理的に変化する（福井大・友田明美教授／米ハーバード大 MRI 研究）。
- ・「褒められても、嬉しいと感じられない」——ドーパミンが出にくくなり、人を信頼しづらく、深い関係を結びにくい困難が大人まで続く。
- ・ACE（子ども期の逆境体験）スコアが高い人ほど、心臓病・うつ・依存症の発症率や社会的孤立率が上がる。
- ・虐待を受けて育った子どもが、自分も虐待してしまう「世代連鎖」は約7割。  
ただし、適切な支援と信頼できる大人との出会いがあれば、連鎖は断ち切れる。

①家庭は密室で、外からは見えない／②目に見える傷が残らない／③親自身が「これが普通」と思っており罪悪感がない。三重の壁の中で、ネグレクトは静かに進む。

社会的養護下の子どもは全国で約4万2,000人。児童養護施設の子どものみは原則18歳で自立を求められる。

大学進学率：一般54% / 施設出身者4%（過去最高）

就職後3年以内の離職率：約8%

「保護されたら一安心」ではない。退所後に孤立し、苦しむ若者が多数いる。

日本の里親委託率は約2%（諸外国は50~90%超）。家庭で育てる子どもは5人に1人だけ。

登録里親は増えているが、①マッチングのミスマッチ ②「不調」（委託解除による二次的トラウマ） ③支援体制の脆弱さ——が壁となっている。

児童相談所につながる全国共通ダイヤル「18924時間365日対応。

- ・確信がなくてもかけていい
- ・匿名でもいい
- ・通告者の秘密は守られる
- ・通告は密告ではなく、子どもを救う第一歩

今日帰ったら、ぜひこの番号をご家族・職場の方にも伝えてください。

---

子どもたち自身が「行き先・予算・計画」を決め、実行する旅。

大人は支えるだけ。「自分で決めて、自分でやれた」という体験が一つあるだけで、子どもの心の土台は確かに変わる。

---

子ども支援団体 Quest（大阪府豊中市 庄内エリア）

HP：<https://quest-toyonaka.netlify.app/> / Instagram：@quest.toyonaka

お問い合わせ：[quest.toyonaka@gmail.com](mailto:quest.toyonaka@gmail.com)

# ANAの歴史から見る航空の歩み

2026年5月20日（水）

「ANAから見る航空の歴史と今後」

全日本空輸（株）大阪支店長  
松井 規代 様（大阪 RC）

—池田 RC・豊中 RC 合同例会—



将現在  
来有窮  
之望乏



松井様 林原会長（池田 RC）

ANA Inspiration of JAPAN



## 空港業務の持続的発展に向けた航空会社間の協調について



- ▶ 地方部では都市部と比べて生産年齢人口の減少幅が大きいため、地方空港の空港スタッフの確保が難しくなっており、航空業界全体の課題となっている。
- ▶ ANAとJAL両社が同一の事業者に空港ハンドリングを委託している地方部の10空港を対象に、航空会社の垣根を越えた生産性向上施策、協調施策を検討し、既に一部実施している。
- ▶ 公共交通機関として、今後も持続的に国内航空路線を維持していくために、まずは10空港において航空会社間での協調を進め、将来の人員不足へ備える取り組みを加速させていきたい。

※10空港：札幌、中津川、函館、秋田、仙台、新潟、岡山、徳島、高知、鹿児島

### (1) グランドハンドリング業務資格の相互承認

・2024年4月より、基礎的な資格を中心とした7資格について、ANA・JALで相互承認を開始。教育訓練時間の短縮、早期育成が可能となる。



JAL機のマーシャリングの様子（仙台空港）

### (2) 空港内特殊車両（GSE）の共用化

・既にANA・JALで共用化しているバスセンジャーステップ車やAir Starter Unitに加え、航空機牽引車や汚水車、給水車等の共用化を検討。



両社のロゴが入った航空機牽引車

### (3) 旅客ハンドリング業務での協調トライアル（岡山空港）

・2025年2月下旬より、保安検査場の案内業務や到着業務、ラウンジのパントリー業務などの協調トライアルを実施し、効果検証や課題抽出を行う。

## ANAが模索するエアモビリティの世界

- ・エアモビリティ（エアタクシー）は、当局の認証・許可を前提に商用サービス開始を目指します。
- ・ドローンを活用した物流サービス等は、2027年の商用サービス開始を目指します。
- ・MaaSは、地上交通等との連携強化、グループ事業とのシナジーにより顧客体験価値を向上します。



<p><b>エアモビリティ</b> 当局の許可を前提に商用サービス化</p> <p><b>ビジョン</b> 電動垂直離陸機（eVTOL）による都市型エアタクシーで新たな移動の価値を創造</p> <p><b>事業戦略</b> ・航空の知見とパートナー連携による事業化 ・圧倒的な時間価値と体験価値の提供による差別化</p>	<p>エアライン → 10km ~ 1,475km 都市間・二国間 貨客大量輸送</p> <p>エアモビリティ → 500m ~ 100km 都市内・空港接続 エアタクシー</p> <p>ドローン → 150m ~ 1,000km 離島・遠隔地 物流・点検・災害</p> <p>MaaS → 0m ~ 近距離 日常・旅中・空港接続 プラットフォーム</p> <p>エアライン事業を中核としたモビリティ事業の拡大</p>	<p><b>ポートフォリオ</b> 高度 移動距離 サービス領域 サービスモデル</p>
<p><b>ドローン</b> 2027年を目標に商用サービス化</p> <p><b>ビジョン</b> オンデマンド物流サービスの実現等、ドローン活用による社会課題解決と潜在需要の獲得</p> <p><b>事業戦略</b> ・固定費/大型/長距離ドローンで強みを懸き、差別化 ・多様な事業モデルの活用（自社/委託/ライセンス等）</p>		
<p><b>MaaS (Mobility as a Service)</b> 現行サービスの拡大・推進</p> <p><b>ビジョン</b> 地上交通等とのシナジー連携で、出発地から目的地までシームレスかつエコフレンドリーな移動体験を提供</p> <p><b>事業戦略</b> ・プラットフォーム機能拡充による新規事業収入の獲得 ・グループ事業とのシナジーの強化、顧客体験価値向上</p>		

## 関西でのANAグループの取組み：地域と共に

### 【伊丹空港】ふるさと納税の取り組み



### ANAのふるさと納税「KIXグラハンツアー」の開催

11月30日（日）と12月6日（土）に豊後野市ふるさと納税の進出品としてKIX郡となるグラハンツアーを開催し、地域産生及びANAグループの収益に貢献しました。

